



平成 27 年 4 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社エックスネット  
代 表 者 名 代表取締役社長 茂谷 武彦  
(コード番号 4 7 6 2 東証第一部)  
問 合 せ 先 管理本部チーフマネジャー 坪田 浩司  
(TEL 0 3 - 5 3 6 7 - 2 2 0 1)

当社の親会社 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ  
代 表 者 名 代表取締役社長 岩本 敏男  
(コード番号 9 6 1 3 東証第一部)

当社の親会社 日本電信電話株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 鶴浦 博夫  
(コード番号 9 4 3 2 東証第一部)

### 特別損失の計上および業績予想数値の修正に関するお知らせ

当社は本日、会社法第 370 条（取締役会の決議に替わる書面決議）により、平成 27 年 3 月期決算において、無形固定資産の減損損失を特別損失に計上することを決議いたしました。

合わせて、平成 26 年 4 月 25 日に公表しました平成 27 年 3 月期の業績予想につきましても修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 特別損失の内容について

当社は、日本国内において国際会計基準（以下、IFRS）の適用が進むものと判断し、主に地方銀行業界を販売見込み先として、平成 23 年より、IFRS に対応した有価証券管理システム（以下、IFRS システム）の開発に着手いたしました。

IFRS 適用に関しては強制適用が見送られ、企業会計基準委員会で修正国際基準の検討などが進められる中、任意適用会社が増加しつつある状況ではありますが、一方で、地方銀行業界における IFRS 適用・導入の見通しは立っておらず、IFRS システムについては開発を一時中断しております。

当社はこのたび、IFRS システムの将来の収益獲得時期が不透明であることから、会計原則に従い、ソフトウェア仮勘定としての帳簿価額 260,515 千円を全額について減損処理し、特別損失に計上することといたしました。

なお、当社の主力商品である生損保等の機関投資家向け XNET サービスにおいては、予定通り IFRS への対応について開発を継続中であり、順次既存ユーザー様への提供を計画しております。

## 2. 業績予想の修正について

(1) 平成 27 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,100	475	500	310	75 円 5 銭
今回修正予想 (B)	3,161	508	531	50	12 円 10 銭
増減額 (B - A)	61	33	31	△260	—
増減率 (%)	2.0%	6.9%	6.2%	△83.9%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	3,005	464	497	295	71 円 45 銭

なお、平成 27 年 3 月期の期末配当金につきましては、既発表予想通り 1 株につき 28 円を予定しており、変更はありません。

### (2) 修正の理由

平成 27 年 3 月期における当社業績については、新規サービス (AMO/BPO 等) の収益への寄与や、既存の XNET サービスの原価低減等により、既発表予想と比較し、売上については 61 百万円の増加、営業利益については 33 百万円の増加、経常利益については 31 百万円の増加を見込んでおります。

しかしながら、前述 1. 特別損失の計上により、当期純利益については 260 百万円の減少となる見込みとなったため、業績予想数値の修正を発表するものであります。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上